

工 事 概 要

工事延長				m	36.5
舗装打換え工	m2	8	透水性舗装工	m2	55
街渠版工	m	16	側溝工	m	16
縁石工	m	16	構造物取壊し工	式	1

施 工 理 由

本工事は、東寺道の北側歩道の一部区間において、横断勾配が急激に変化しており、歩行者等の通行に支障をきたしていることから、歩車道境界ブロック等を改良することにより、横断勾配の改善を行うことで、快適な歩行空間の形成を目的とするものである。					
---	--	--	--	--	--

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
内	工 事 価 格	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
支	給 品 費	前回	円	円	円
		今回	円	円	円

積算参考資料（間接費補正一覧）

単 価 使 用 年 月	2026年8月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年8月	
基 準 適 用 年 月	2026年8月	
単 価 地 区	2601: I 地区	
調 整 区 分	単独工事	
共通仮設費（率計上）		
主 た る 工 種	13:道路維持工事	
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.5
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.2
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	補正しない	0.00%

見積参考資料

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※見積等項目名が空欄の場合、細別のすべてを含む単価を示しています。見積等項目名を記載している場合は、細別のうち見積を採用した部分の単価を示しています。

[illegible]

設計内訳書（本01）

工事名	歩道改良工事（東寺道）					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路修繕			式	1				
道路土工			式	1				
掘削工			式	1				
掘削		土質:土砂,施工方法:上記以外(小規模),施工数量: 小規模(標準以外)	m3	8				単 1号(概)
残土処理工			式	1				
廃路盤材運搬			m3	8				単 2号(概)
廃路盤材処分			m3	8				単 3号
土砂等運搬		土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	6				単 4号(概)
残土等処分		土質:土砂	m3	6				単 5号
舗装工			式	1				
舗装打換え工 車道			式	1				
不陸整正		補足材無	m2	8				単 6号
上層路盤		路盤材種類:路盤材(瀝青安定処理材各種),路盤材 規格:再生瀝青安定処理(25),仕上り厚:50mm	m2	8				単 7号

設計内訳書（本01）

工事名	歩道改良工事（東寺道）				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
基層	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	8				単 8号
表層	材料種類:再生密粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	8				単 9号
透水性舗装工 歩道		式	1				
フィルター層		m2	55				単 10号
下層路盤(歩道部)		m2	55				単 11号
表層		m2	55				単 12号
排水構造物工		式	1				
街渠版工		式	1				
街渠版(Ⅰ型) 一般部	18-8-40(高炉)	m	16				単 13号
側溝工		式	1				
プレキャストL形側溝		m	16				単 14号
縁石工		式	1				
作業土工		式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	歩道改良工事（東寺道）					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
床掘り		土質:土砂	m3	6				単 15号(概)
縁石工			式	1				
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 一般部		ﾌﾞﾛｯｸ規格:C種	m	16				単 16号(概)
防護柵工			式	1				
防止柵工			式	1				
転落(横断)防止柵 撤去・再設置		柵高:0.8m, 作業区分:ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込	m	3				単 17号(概)
構造物撤去工			式	1				
構造物取壊し工			式	1				
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し		構造物区分:無筋構造物, 工法区分:機械施工	m3	3				単 18号(概)
舗装版切断		舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版, ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm 以下	m	50				単 19号
舗装版破碎		舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版, 舗装版厚:15cm	m2	8				単 20号(概)
舗装版破碎		舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版, 舗装版厚:4cm	m2	55				単 21号(概)
運搬処理工			式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	歩道改良工事（東寺道）				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
殻運搬	殻種別:アスファルト殻	m3	3				単 22号(概)
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	3				単 23号
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	3				単 24号(概)
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	3				単 25号
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員		人日	20				単 26号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 概略発注工を除く直接工事費の 41.7%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	歩道改良工事（東寺道）					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通仮設費（率計上）			式	1				
純工事費			式	1				
現場管理費			式	1				
工事原価			式	1				
一般管理費等			式	1				
工事価格			式	1				
消費税額及び地方消費税額			式	1				
工事費計			式	1				

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 1号	掘削	土質:土砂, 施工方法:上記以外(小規模), 施工数量: 小規模(標準以外)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂, 上記以外(小規模), 小規模(標準以外)	m3	1			02-01-02	
CB210100								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 2号	廃路盤材運搬		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
廃路盤材運搬		機械積込, 有, 5km以上10km未満	m3	1			単 27号 60-01-12	
DY1411								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	廃路盤材処分		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 28号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	土砂等運搬	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		小規模,バックホウ バケツ容量0.13m3, 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 有り, 6.5km以下					02-01-02	
CB210110			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 5号	残土等処分	土質:土砂	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
残土等処分			m3	1			02-01-02	
CB210560								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 6号	不陸整正	補足材無	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正		無し, 全ての費用	m2	1			04-01-01	
CB410010								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月	2026. 08	
						歩掛適用年月	2026. 08	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 7号	上層路盤	路盤材種類:路盤材(瀝青安定処理材各種), 路盤材規格:再生瀝青安定処理(25), 仕上り厚:50mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤(車道・路肩部)		路盤材(瀝青安定処理材各種), 1. 4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, プライムコート PK-3, 全ての費用	m2	1			04-01-01	
CB410040								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月	2026. 08	
						歩掛適用年月	2026. 08	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 8号	基層	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層(車道・路肩部)		1. 4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, 再生粗粒度アスコン(20), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1			04-01-02	
CB410240								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 9号	表層	材料種類:再生密粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		1. 4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, 再生密粒度アスコン(20), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1			04-01-02	
CB410260								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 10号	フィルター層		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
フィルター層		40mm以上60mm未満	m2	1			04-01-03	
CB410650								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 11号	下層路盤(歩道部)		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤(歩道部)		100mm, 1層施工, 再生クラッシュラン RC-30, 全ての費用	m2	1			04-01-01	
CB410031								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 12号	表層		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(歩道部)		1. 4m未満(仕上厚50mm以下), 40mm, 各種(2. 00以上2. 10t/m3未満), 無し, 全ての費用	m2	1			04-01-02	
CB410261								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 13号	街渠版 (I 型) 一般部	18-8-40 (高炉)	単位	m	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
型枠		一般型枠, 小型構造物					02-04-02	
CB240210			m2	1. 5				
コンクリート		小型構造物, 人力打設, 18-8-40 (高炉), 一般養生, 無し, 全ての費用					02-04-01	
CB240010			m3	0. 67				
目地板		30m2未満, 瀝青繊維質目地板t=10					02-02-18	
CB224710			m2	0. 05				
合計								
単価							円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 14号	ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄL形側溝		単位	m	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄL形側溝(製品長 0. 6m/個)		据付, 有り, 各種, 全ての費用	m	10			02-02-10	
CB222710								
型枠		一般型枠, 小型構造物					02-04-02	
CB240210			m2	1. 2				
コンクリート		小型構造物, 人力打設, 18-8-25(高炉), 一般養生, 無し, 全ての費用					02-04-01	
CB240010			m3	0. 18				
諸雑費(まるめ)								
ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 15号	床掘り	土質:土砂	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂, 現場制約あり	m3	1			02-01-03	
CB210030								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 16号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ 一般部	ﾌﾞﾛｯｸ規格:C種	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ		設置, 各種600mm以下50kg以上100kg未満, 1. 65個/m , 再生ｸﾞﾗｯｼｬﾌﾟﾝ RC-40, 18-8-25 (高炉), 有り	m	1			04-02-03	
CB422510								
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 17号	転落(横断)防止柵 撤去・再設置	柵高:0. 8m, 作業区分:ブ レキャストコンクリートﾌﾟﾛｯｸ建込	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵(横断・転落防止柵)設置工		ブ レキャストコンクリートﾌﾟﾛｯｸ建込, 門型, 3m, 100m未満, 無	m	1			単 29号 06-02-02	
WB810760								
防護柵(横断・転落防止柵)撤去工		ブ レキャストコンクリートﾌﾟﾛｯｸ建込, 門型, 3m, 無, 無	m	1			単 30号 06-02-02	
WB810770								
合計								
単価							円／m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 18号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:機械施工	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要	m3	1			単 31号 06-01-04	
WB824010								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 19号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	m	1			04-03-03	
CB430510								
合計								
単価							円/m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 20号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:15cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 必要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1			04-03-02	
CB430310								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 21号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:4cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 必要, 15cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1			04-03-02	
CB430310								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 22号	殻運搬	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械(対策不要厚15cm超)又は必要, 有り, 9. 0km以下, 全ての費用	m3	1			02-02-25	
CB227010								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 23号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)							単 32号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表 (概)

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 24号	殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 2 8. 4km以下, 全ての費用					02-02-25	
CB227010			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 25号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 33号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 26号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 34号 02-05-20	
WB010212			人日	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 08	
						歩掛適用年月	2026. 08	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 27号 DY1411	廃路盤材運搬	機械積込, 有, 5km以上10km未満	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック[オンロード・デ・イセール] 通称10t積級		20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を適用しない, 0, しない, しない, 0時間	日	0. 32			単 35号 90-03-01	
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 08	
						歩掛適用年月	2026. 08	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 28号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 廃路盤材			m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 29号 WB810760	防護柵(横断・転落防止柵)設置工	プレキャストコンクリートブロック建込, 門型, 3m, 100m未満, 無	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
横断・転落防止柵設置工ブロック建込用 門型 単価補正1. 250 (FP3)		Q001154005	m	100				
防護柵(P種) 再利用		Y001191000001	m	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円/m	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 30号 WB810770	防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	プレキャストコンクリートブロック建込, 門型, 3m, 無, 無	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
横断・転落防止柵撤去工ブロック建込用 門型 単価補正1. 000 (FP3)		Q001166005	m	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円/m	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 31号 WB824010	構造物とりこわし	無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
無筋構造物 昼間 機械施工 制約無 単価補正1. 300 (FP3)		Q001611001	m3	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円/m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 32号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻 (掘削)		Y007600000001	m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 33号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 Co殻 (無筋)		Y007600000002	m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 34号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B		R0804	人	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／人日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 08
歩掛適用年月	2026. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 35号 K0301005	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級	20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を 適用しない, 0, しない, しない, 0時間	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	57				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級		機械条件: 供用 持込						
	M000301005		供用日	1. 35				
タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日								
	Z010020105		供用日	1. 35				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

特記仕様書（個別工事編）

工事名 歩道改良工事(東寺道)

工事場所 京都市下京区西九条池ノ内町 地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和8年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年8月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

第2条（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「月単位の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 「月単位の週休2日」が未達成のもので、明らかに受注者側に「月単位の週休2日」に取り組む姿勢が見られなかった場合については、必要に応じ、工事成績評定点を減ずる措置を行う場合がある。
- 5 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 6 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第3条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。

- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加対象となる。

第4条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第5条（前払金）

前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>）

2 現場条件に関する事項

第6条（施工時間）

施工は昼間とし、標準的な作業時間帯は、8時30分～17時30分とする。ただし、所轄警察署等と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第7条（工事規制）

- 1 本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第17条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html>

・年末年始規制

規制種別	規制路線 及び地域	規制期間	規制内容
年末年始 規制	幹線道路	12月20日 ～1月5日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は 工事区域を拡大してはならない。 ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放 するための工事はこの限りでない。
	準幹線道路		
	その他道路	12月27日 ～1月5日	

第8条（交通誘導警備員）

- 1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員 の有無
施工箇所	3名	交通誘導警備員B 3名	昼間	無

- 2 上表において交替要員を有としている配置場所については、作業中は交通誘導警備員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

3 監督職員の確認に関する事項

第9条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材料・製品	備考
プレキャストコンクリート製品 (JIS I類、JIS II類含む)	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)

第10条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第 1 1 条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（３－１－１－４）の「表 3－１－１ 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）
（共通仕様書（３－１－１－４）の「表 3－１－１ 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

工種-種別等	細 別	確 認 項 目
側溝工	プレキャスト L 型側溝	型枠設置時
縁石工	歩車道境界ブロック	型枠設置時

第 1 2 条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験の項目や規格値等については、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載しているが、次表の工種、品目・規格等、試験項目における具体的な試験時期・頻度は、同表に記載のとおりとする。

工種	品目・規格等	試験項目	試験時期・頻度	備 考
セメント・コンクリート	レディミクストコンクリート 18-8-25(20)BB 18-8-40BB	塩化物総量規制	打設前、1 回※	約 2m3
		単位水量測定	〃	〃
		スランプ 試験	〃	〃
		空気量試験	〃	〃
		圧縮強度試験	〃	〃
アスファルト舗装	アスファルト混合物	外観検査（目視）	随時	

※：1工種当たりの総使用量が50m3未満で、かつ、JISマーク表示認定工場の品質証明書を提出できる場合は、試験を省略することができる。

4 建設副産物に関する事項

第 1 3 条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正令和 7 年 3 月 27 日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
アスファルト塊	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府京都市伏見区横大路千両松町78番地	設計運搬距離 L = 7.5 km
コンクリート塊 (無筋)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府綴喜郡井手町大字井手小字久保48番地の1他16筆	設計運搬距離 L = 25.3 km
廃路盤材	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府京都市伏見区横大路松林町18番地の1	設計運搬距離 L = 8.7 km

2 舗装切断時等において発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時等において発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

3 建設発生土が発生する場合の対応（指定地処分）

受入地が発行する書類、伝票などの写しを監督職員に随時提出するとともに、その原本との照合による確認を検査時まで監督職員に受けるものとする。

なお、建設発生土の搬出に当たり、仮置きが必要な場合は、沿道環境に配慮した搬出計画を立てるものとし、書面等により事前に監督職員の確認を受けること。

原則、下表に示す受入先へ搬出するものとするが、土質性状や搬入時期等により搬出できない場合は、監督職員と協議のうえ、その指示によるものとする。

ただし、実施日において、公共工事間で流用可能な場合は、工事間流用を最優先するものとし、設計変更の対象とする。

<建設発生土>

建設副産物	受入場所	備 考
建設発生土	(指定地処分) 有限会社 福田建材 京都府京都市伏見区久我石原町3番29	設計運搬距離 L = 6.4 km

本工事では土壌調査費等を計上していないが、建設発生土について、以下の事項のいずれかに該当する場合は土壌調査が必要となる。その場合は、設計変更の対象とする。

- (1) 指定している受入場所がある地方公共団体の関係法令に基づく土地の埋立等の許可を得た事業者である場合
- (2) 本工事の土砂等の性状（色、臭い等）や廃棄物の混入等の状況が埋立基準に適合しないおそれがある場合
- (3) 上記の(1)(2)以外に土壌調査が必要となった場合

なお、土壌調査を実施することとなる場合は、建設発生土の搬出前に土壌調査を実施し、以下の資料を監督職員に提出すること。

- (1) 土壌分析結果証明書（計量法第 122 条第 1 項の規定により登録された計量士のうち、濃度に係る計量士が発行した土壌の分析結果を証する書類（測定方法を明示したもの））
- (2) (1)の試料を採取した地点を示す図面及び当該地点の写真

4 建設発生土の受入地の変更

土質性状や搬入時期等により指定する受入地に搬出ができない場合、監督職員は京都市土木積算システム設計単価第 5 編及び公共物 G I S に掲載している他の施設の中から積算上の 2 番目以降の受入地（以下、「積算受入地」という。）を順次指定し、受注者は搬出の可否を確認するものとする。

積算受入地への建設発生土の搬出について、監督職員と協議のうえ決定するものとし、設計変更の対象とする。

なお、受注者は、積算受入地に代えて、京都市土木積算システム設計単価第 5 編及び公共物 G I S に掲載している他の施設、又は盛土規制法許可等施設で、「ストックヤード運営事業者登録制度」により登録された施設の中から別の受入地（以下、「提案受入地」という。）を提案することができる。

提案受入地への建設発生土の搬出が適正であると認められる場合はこれを妨げないが、設計変更の対象としない。また、提案受入地での処分に掛かる費用が、積算受入地での処分に掛かる費用を下回る場合は、減額の設計変更を行うものとする。

5 その他事項

第 14 条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の 30 日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の 14 日前までに提出すること。

第 15 条（情報共有システムの利用）

- 1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。

システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和 8 年 8 月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。

- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。

3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。

4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>

第16条（受注者希望型における遠隔臨場の実施）

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

（1） 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

（2） 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（3） 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

（4） 成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

位置図

